

樣 式 集

【様式集(1)】 県への応援要請書等様式

(様式1)

三重県知事あて
(応援市町長あて)

第 年 月 号
日

応援要請市町長
(公 印 省 略)

応 援 要 請 書

三重県市町災害時応援協定書に基づき、下記のとおり応援を要請します。

記

1. 応援を要請する理由

例) 台風〇〇号による災害

2. 添付書類

○被害状況 (別添様式1)

例) 災害対策本部の設置状況、職員配置状況
人的被害、住家被害、非住家被害、道路被害、ライフライン被害
避難者数など

被害集中地域等、現在の主な対応状況等

○応援要請・計画書 (別添様式2～別添様式4)

例) 要請物資、資機材等の品目、数量、搬入場所、輸送手段、交通情報等
要請人員の職種、人数、派遣場所、活動内容、派遣期間 等
その他必要な事項 (地図等)

3. 連絡先

担当課 : _____
担当者 : _____
電話番号 : _____
FAX番号 : _____
電子メール : _____

(様式2)

第 年 月 日 号

応援市町長あて

三 重 県 知 事

(公 印 省 略)

応 援 計 画 書

三重県市町災害時応援協定書に基づき、 年 月 日付け第 号により提出された応援要請に基づき、下記のとおり応援計画を作成しましたので通知します。

記

1. 応援市町名及び応援内容

例) ○○市 応援内容：人員派遣、救援物資輸送

2. 添付書類

- 応援要請書（様式1）の写し
- 被害状況（別添様式1）
- 応援要請・計画書（別添様式2～別添様式4）

3. 連絡先

担当課 : _____
担当者 : _____
電話番号 : _____
FAX番号 : _____
電子メール : _____

(様式3)

第 年 月 日 号

応援要請市町長あて

応援市町長
(公 印 省 略)
(三重県経由)

応 援 通 知 書

三重県市町災害時応援協定書に基づき、 年 月 日付け、第 号により提出された応援要請による要請を受諾し、下記のとおり応援を行うこととしましたので通知します。

記

1. 応援市町名及び応援内容

例) ○○市 応援内容：人員派遣、救援物資輸送

2. 添付書類

○応援要請・計画書（別添様式2～別添様式4）

3. 連絡先

担当課 : _____
担当者 : _____
電話番号 : _____
FAX番号 : _____
電子メール : _____

(様式4)

三重県知事あて
(応援市町長あて)

第 年 月 日
号

応援要請市町長
(公 印 省 略)

応 援 物 資 受 領 書

三重県市町災害時応援協定書に基づく本市（町）の応援要請に対して、貴県（市町）より下記のとおり応援物資を受領しましたので通知します。

記

1. 応援物資及び数量

2. 連絡先

担当課 : _____
担当者 : _____
電話番号 : _____
FAX番号 : _____
電子メール : _____

(様式5)

三重県知事あて
(応援市町長あて)

第 年 月 日 号

応援要請市町長
(公 印 省 略)

応 援 終 了 要 請 書

三重県市町災害時応援協定書に基づき、 年 月 日付け第 号により受諾された応援について、下記のとおり終了の要請をいたしますので、よろしくお願い致します。

記

1. 応援終了要請の理由

2. 応援終了要請年月日

年 月 日

3. 連絡先

担当課 : _____
担当者 : _____
電話番号 : _____
FAX番号 : _____
電子メール : _____

(様式6)

第 年 月 日 号

応援要請市町長あて

応援市町長
(公 印 省 略)
(三重県経由)

応 援 終 了 報 告 書

三重県市町災害時応援協定書に基づき、 年 月 日付け、第 号により提出された応援要請に基づく応援については、下記の理由により終了することになりましたので報告します。

記

1. 応援終了の理由

2. 応援終了年月日

年 月 日

3. 連絡先

担当課 : _____
担当者 : _____
電話番号 : _____
FAX番号 : _____
電子メール : _____

被害状況速報

防災情報システム入力・出力

[illegible]

應援計畫書

人員派遣

	県市町名	所属	担当者氏名	連絡先(電話)
応援要請(被災)市町(被災市町記入)				
	三重県			
応援市町(応援受諾市町記入)				

[illegible]

市町名	所属	担当者氏名	連絡先(電話)
応援要請(被災)市町(被災市町記入) 三重県			
応援市町(応援受諾市町記入)			

[illegible]

【様式集（２） 自衛隊災害派遣及び撤収要請様式】

■ 災害派遣要請書

年 月 日

（宛先）三重県知事

松阪市長



自衛隊の災害派遣要請要求について

災害を防除するため、自衛隊法 83 条に基づく自衛隊の派遣要請を要求します。

記

1 災害の状況及び派遣を要請する事由

災害の状況（特に災害派遣を必要とする区域の状況を明らかにする。）

派遣を要請する事由

2 派遣を希望する期間

3 派遣を希望する区域及び活動内容

（1）派遣を希望する区域

（2）派遣を希望する活動内容

（3）連絡場所及び連絡者

4 その他参考となすべき事項

■ 撤収要請書

年 月 日

(宛先) 三重県知事

松阪市長

印

自衛隊の撤収要請要求について

このことについて、自衛隊法第 83 条の規定により、災害派遣を受けましたが、所期の目的を終了しましたから、下記のとおり撤収要請を要求します。

記

1 撤収要請日時

年 月 日 時 分

2 派遣要請日時

年 月 日 時 分

3 撤収作業場所

撤収作業内容

【様式集（３）】海上保安庁応急措置実施要請及び撤収要請様式

■ 応急措置実施要請書

年 月 日

知 事 あ て

松阪市長

印

海上保安庁の応急措置の実施要請要求について

このことについて、下記のとおり、災害対策基本法第 70 条第 3 項及び海上保安庁防災業務計画第 3 章第 5 節第 9 関係機関及び地方公共団体の災害応急対策の実施に対する支援に基づき、応急措置の実施要請を要求します。

記

1 災害の状況及び応急措置を要請する事由

災害の状況（特に応急措置を必要とする区域の状況を明らかにする。）

応急措置を要請する事由

2 応急措置を希望する期間

3 応急措置を希望する区域及び活動内容

(1) 応急措置を希望する区域

(2) 応急措置を希望する活動内容

(3) 連絡場所及び連絡者

4 その他参考となすべき事項

■ 撤収要請書（知事あて）

年 月 日

（宛先） 三重県知事

（市町長） 印

海上保安庁の応急措置撤収要請要求について

このことについて、下記のとおり、災害対策基本法第 70 条第 3 項及び海上保安庁防災業務計画第 3 章第 5 節第 9 関係機関及び地方公共団体の災害応急対策の実施に対する支援に基づき、応急措置の実施を受けましたが、所期の目的を終了しましたから、下記のとおり撤収要請を要求します。

記

1 撤収要請日時

年 月 日 時 分

2 応急措置の実施要請日時

年 月 日 時 分

3 撤収作業場所

撤収作業内容

様式集(4) 災害救助法関係様式

様式1

被害状況調

被害の状況			法適用市町村名	〇〇市	〇〇町	〇〇村	計
人的被害	負傷	死者					
		行方不明者					
		重症					
		軽症					
		小計					
		計					
住家の被害	棟数	全壊・全焼又は流出					
		半壊又は半焼					
		一部破損					
		床上浸水					
		床下浸水					
	世帯数及び人員	全壊・全焼又は流出	世帯				
			人員				
		半壊または半焼	世帯				
			人員				
		一部破損	世帯				
			人員				
		床上浸水	世帯				
			人員				
		床下浸水	世帯				
			人員				
		災害発生日					

(注)

- 負傷のうち「重症」とは、1月以上の治療を要する見込みのものとし、「軽症」とは、1月未満で治療できる見込みのものとするが、その区分が把握できない場合は、負傷欄の小計を持って報告すること。
- 「棟」とは、一つの独立した建物をいう。なお母屋に付着している風呂場、便所等は母屋に含めて1棟とするが、2つ以上の棟が渡り廊下等で接続している場合には2棟とすること。
- 「一部破損」とは、住家の損壊程度が、半壊に達しない程度のものとする。
- 「床上浸水」とは、住家が「床上浸水」に達しない程度のものとする。
- 住家の被害のうち「棟数」及び「一部破損」は「決定報告」を除き、指示した場合に限り報告すること。

災害救助費概算額調

種目別区分	員数	単価	金額	備考
1 救助費		円	円	
(1) 収容施設供与費				
避難所設置費	延 人			
応急仮設住宅設置費	戸			
(2) 炊出しその他による食品給与費	延 人			
(3) 飲料水供給費	延 人			
(4) 被服寝具その他生活必需品給(貸)与費	世帯			
(5) 医療及び助産費	延 人			
医療費	延 人			
助産費	延 人			
(6) 災害にかかった者の救出費	人			
(7) 住宅の応急修理費	世帯			
(8) 生業資金の貸与費	世帯			
(9) 学用品の給与費	人			
小学校児童	人			
中学校生徒	人			
(10) 埋葬費	体			
大人	体			
小人	体			
(11) 死体の搜索費	体			
(12) 死体の処理費	体			
(13) 障害物の除去費	世帯			
(14) 輸送費				
(15) 人夫賃				
2 実費弁償費	人			
3 扶助費	件			
4 損失補償費	件			
5 法第19条の補償費				
6 法第20条の求償に対する支払費				
合計				

●年度災害救助基金報告書

		都道府県名	
概況	災害救助基金現在高 (年 4月 1日)	A	円
	当該年度における災害救助基金最少額	B	円
	差引過△不足額	A－B＝C	円
	当該年度要積立額	D	円
	当該年度積立予定額	E	円
災害救助基金 現在高内訳	法第41条第1号の方法		円
	同条第2号の方法		円
	同条第3号の方法		円
	計		円
前年度決算状況	災害救助基金現在高 (年 4月 1日)	F	円
	災害救助基金最少額	G	円
	差引過△不足額(F－G)	H	円
	要積立額	I	円
	積立額	J	円
	支出額	K	円
	応急仮設住宅払下収入金	基金繰入額	円
		その他	円
	生業資金返還額	基金繰入額	円
その他		円	

(注)「前年度決算状況」の各欄のうち、額が確定していないものについては、見込額とすること。

救助の種目別物資受払状況

					市町村名			
救助の種目	年月日	品名	単位 呼称	摘要	受	払	残	備考 (金額)
								円

(注)1 「摘要」欄に購入又は受払先及び払出し先を記入すること。

2 「備考」欄に購入単価及び購入金額を記入すること。

3 各救助の種目別最終行欄に受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにすること。

なお、物資等において都道府県よりの受入分及び市町村調達分がある場合には、それぞれの別に受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。

4 救護班による場合には、救護班ごとに救助業務従事期間中における品目ごとに使用状況を記入すること。

なお、「備考」欄に払高数量(使用数量)に対する金額を記入すること。

避難所設置及び収容状況

					市町村名			
避難所の名称	種別	開設期間 月 日から 月 日まで	実人員 人	延人員 人	物品使用状況		実支出額	備考
					品名	数量		
	既存建物							
	野外仮設							
	天幕							
計								

- (注) 1 「種別」欄は、既存建物、野外仮設、天幕の別に記入すること。
2 物品の使用状況は、開設期間中に使用した品目別、使用数量を記入すること。
3 他市町村の住民を収容したときは、その住所、氏名及び収容期間を「備考欄」に記入すること。

応急仮設住宅台帳

[illegible]

- (注) 1 「応急仮設住宅番号」欄は、応急仮設住宅に付した番号とし、設置個所を明らかにした簡単な図面を作成し添付すること。
2 「家族数」欄は、入居時における世帯主を含めての人員数を記入すること。
3 「所在地」欄は、応急仮設住宅を建設したところの住所を記入すること。
4 「構造区分」欄は、木造住宅、プレハブ住宅の別を記入する。
5 「敷地区分」欄は、公私有別とし、有無償の別をも明らかにすること。
6 「備考」欄には、入居後における経過を明らかにしておくこと。

救護班活動狀況

○○救護班
班長：医師 氏名

印

月日	市町村名	患者数 人	措置の概要	死体検案数 人	修繕費 円	備考
計		0		0	0	

(注) 「備考」欄に班の編成、活動期間を記入すること。

病院診療所医療実施状況

診療 機関名	患者氏名	診療期間 月 日	病名	診療区分		診療報酬		金額	備考
				入院	通院	入院 点	通院 点		
計 機関	人							0	

(注) 「診療区分」欄は該当欄に○印を記入すること。

助産台帳

[illegible]

被災者救出状況記録簿

[illegible]

- (注)1 他市町村に及んだ場合には、備考欄にその市町村名を記入すること。
2 借上費については、有償、無償を問わず記入するものとし、有償による場合にのみ、その借上費を「金額」欄に記入すること。
3 「修繕の概要」欄には、修繕の原因及び主な修繕箇所を記入すること。

年 月 日

11

- (注) 1 「給与月日」欄は、その児童(生徒)に対して最後に給与した給与年月日を記入すること。
2 「給与品の内訳」欄には、数量を記入すること。

埋葬台帳

[illegible]

- (注) 1 埋葬を行った者が市(区)町村長であるときは、遺族の氏名を「備考」欄に記入すること。
2 市(区)町村長が棺、骨箱等を現物で給与したときは、その旨「備考」欄に明らかにすること。
3 埋葬を行った者に埋葬費を支給したときは、その旨及び金額を「備考」欄に記入すること。

– 546 –

障害物除去の状況

				市町村名		
住家被害程度区分		区分	除去に要した期間	実支出額	除去に要すべき 状態の概要	備考
			月 日～ 月 日	円		
計	半壊(焼)	世帯				
	床上浸水	世帯				

輸送記録簿

市町村名													
輸送 月日	目的	輸送 区間 (距離)	借上等			修繕					燃料費	実支 出額	備考
			使用車両等		金額	故障車両等		修繕 月日	修繕費	故障の 概要			
			種類	台数		名称番号	所有者氏名						
					円				円		円	円	

- (注) 1 「目的」欄は主たる目的(又は救助の種類名)を記入すること。
2 県又は市町の車両による場合は、「備考」欄に車両番号を記入すること。
3 借上車両等による場合は、有償無償を問わず記入すること。
4 借上等に「金額」欄には、運送費又は車両等の借上費を記入すること。
5 「故障の概要」欄には、故障の原因及び故障箇所を記入すること。

(実費弁償)
様式23

(1) 令第10条第1号から第4号までに規定する者の従事状況

職種	従業員数		従事場所(市町村)	従事期間	実支出額			市町村名	算定基準による算定額	備考
	実人員	延人員			日当	旅費	時間外勤務手当			
医師及び歯科医師 薬剤師 保健師・助産師・看護師 土木技術者 建築技術者 大工・左官及びとび職	人	人			円	円	円	円	円	
計	0	0			0	0	0	0	0	

(注) 「備考」欄には、従事者が従事した業務の内容について記入すること。

(2) 令第10条第5号から第10号までに規定する者の従事状況

業者 業種	数	従事者		従事場所(市町村)	従事期間	実支出額 円	備考
		実人員	延人員				
土木建築業者		人	人				
地方鉄道業者							
軌道経営者							
自動車 運送事業者							
船舶運送業者							
港湾運送業者							
計	0	0	0			0	

(注) 「備考」欄には、従事者が従事した業務の内容について記入すること。

(3) 扶助金の支給状況

(注) 1 「積算基礎」欄には支給基礎額及び支給額の積算基礎等を記入すること。
2 「備考」欄には、扶助金の支給を必要とした原因等の概要を記入すること。

(4) 損失補償費の状況

(注) 1 「種類」欄には、法第26条の管理、使用、保管および収容の別に区分して記入すること。
2 「基礎積算」欄には、損失補償の額の積算基礎を記入すること。
3 「備考」欄には、損失補償の概要を記入すること。

法第19条の補償費の状況

区 分	支 出			備 考
	実 員 数	単 価	金 額	
1 人 件 費		円	円	
(1) 旅 費				
(2) 役 務 費				
(3) 時 間 外 勤 務 手 当 及 び 深 夜 手 当				
2 救 護 所 設 置 費				
(1) 消 耗 器 材 費				
(2) 借 上 費				
3 救 護 諸 費				
(1) 薬 剤 費				
(2) 衛 生 材 料 費				
(3) そ の 他 消 耗 品 費				
4 輸 送 費				
(1) 輸 送 費				
(2) 修 繕 費				
(3) 借 上 費				
(4) 燃 料 費				
5 人 夫 費				
(1) 医 療				
(2) 助 産				
(3) 死 体 処 理				
6 扶 助 金				
7 事 務 費				
(1) 消 耗 品 費				
(2) 電 話 費				
(3) 電 報 費				
計	0	0	0	

(注) 「区分」の欄には、適宜必要な欄を設けて費目別に記入すること。